

かなざわ防災クイズ

～防災王への道～



(2019年台風19号接近時の金沢区臨海部の様子)

私は防災マニアでクイズマニアの、人呼んで「金沢区の防災王」です。私がクイズ形式で防災のことを教えるので、一緒に学んで防災王になりましょう!

近年、全国各地で地震や台風、大雨などの大きな災害発生しています。自分自身、そして大切な人たちが助かる確率を上げるために、「知っていること」「備えていること」が強力な武器となります。

防災王って何だろう…



よろしくお願いします



【地震編】

Q1 次のうち一番発生確率の高いものは何でしょう？

- 1、横浜市で30年以内に震度5強以上の地震が発生する。
- 2、交通事故にあつてけがをする。
- 3、飛行機事故にあつて死亡する。

正解:1

解説:横浜市で30年以内に震度5強以上の地震が発生する確率は約86%、首都直下地震の発生確率は約70%とされています。なお、交通事故でけがをする確率は24%、飛行機事故で死亡する確率は0.002%とされています。

(出典:全国地震動予測地図2020年版、国土交通白書 2020、内閣府防災情報)

Q2 金沢区防災計画上の被害想定はどのくらいでしょう？

- 1、建物の倒壊200棟、建物の焼失50棟、死者10人
- 2、建物の倒壊3,400棟、建物の焼失0棟、死者90人
- 3、建物の倒壊8,800棟、建物の焼失2,700棟、死者200人

正解:3

解説:横浜市では、東日本大震災の教訓から、科学的知見やデータをもとに被害を想定しています。大地震でどのような影響が出るのかを知っておくことは、減災行動を考える上で重要です。

(元禄型関東地震:マグニチュード8.1、市内最大震度7、朝5時発生想定の場合)



こんなにも大きな被害が想定されているなんて怖い…家具やテレビなどに地震対策をしている家庭はどれくらいあるのかな？

火災の想定被害も多いんだね。うちの消火器はどこにあったかな？

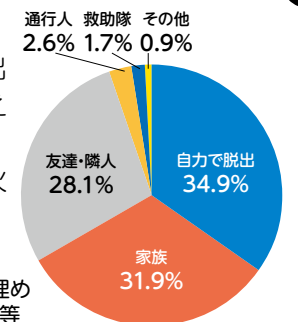


Q3 1995年の阪神・淡路大震災で、生き埋めや閉じ込められたりした人たちは、どのように救助されたでしょう？

- 1、ほとんどの人は自力で脱出した。
- 2、自力や家族、友人や隣人による救助が大半を占めた。
- 3、救助隊による救助の割合が最も高かった。

正解:2

解説:次の表は、誰が救助を行ったかを示したものです。「自力で脱出(34.9%)」「家族(31.9%)」「友人・隣人(28.1%)」の割合が90%を超えています。助け合い・支え合いが大きな力を発揮することが分かります。(出典:(社)日本火災学会(1996)「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」より内閣府作成)



阪神・淡路大震災における生き埋めや閉じ込められた際の救助主体等

Q4 授業中に震度5強以上の地震が発生しました。その後皆さんがとるべき行動は？

- 1、校舎に損傷がなければ授業が継続されるので、真面目に勉強する。
- 2、保護者が迎えに来るまで学校で待機する。
- 3、しばらく様子を見た後、一斉に帰宅する。

正解:2

解説:震度5強以上の地震が発生すると、授業はただちに打ち切りになります。まずは自分の身を守り、先生の指示に従って学校で待機します。保護者と会えない、連絡がとれないということがないように、迎えに来てもらって一緒に帰ります。



学校にいる時だけでなく、家にいる時や外出中に地震が起きたらどうするかも考えておきましょう。

●自助(自分の命は自分で守る)

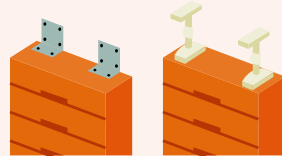
大地震に備えて普段から準備をしておくことが大切です。

「3日分以上の食料等の備蓄」「家具の転倒防止」「地震による火災の対策」
を家庭でしておきましょう。

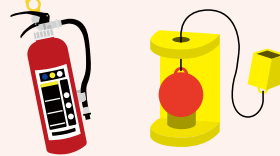
食糧等の備蓄



家具の固定



火災の対策



※ 1日1人3ℓとして、3日分9ℓ以上(できれば7日分21ℓ)の飲料水を備蓄しましょう。

●共助(地域で共に助け合う)

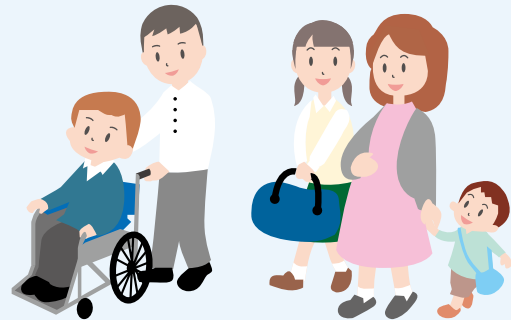
大地震が起きた場合、近隣で互いに助け合って地域を守る取組が必要です。

〈日頃からできること〉

あいさつをしたり、地域の行事に参加したりして、近所の人と良い関係を築きましょう。

〈避難生活でできること(例)〉

困っている人を助ける



物資の運搬のお手伝い



子どもたちのお世話



●地域防災拠点(避難所)

震度5強以上の地震が発生すると、市立学校は原則休校となります。

そして、指定された区内26の小・中学校は、地域防災拠点(避難所)となります。
地域防災拠点は金沢区防災マップに載っていますので、確認しておきましょう。



自宅にとどまることができる場合は、地域防災拠点に避難する必要はありません。



《家族と一緒に確認しておきましょう》

あなたの地域防災拠点(避難所)はどこですか?

(避難経路も確認しておきましょう。)

水や食料以外に必要な持ち出し品はなんですか?

(常備薬、コンタクトなどできるだけ書き出してみましょう。)

外出時に大地震が起きたとき、家族との連絡手段はどうしますか?

ここまでは【地震編】でした。次のページからは【台風・大雨編】に入ります。

【台風・大雨編】

Q5 近年、金沢区に大きな被害をもたらした災害は何でしょう？
1、地震 2、台風 3、大規模火災

正解:2

解説:2019年の台風15号は、金沢区の特に関東部に大きな被害をもたらしました。浸水などによる被害額は約250億円とされています。その後は消波ブロックや防潮堤を整備し、災害に備えています。台風などの風水害は事前に進路や規模が予測できることから、避難が必要になった際に**速やかに避難できるよう事前に準備しておくことが大切です。**



発災後の様子



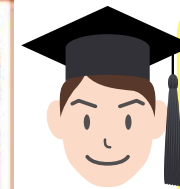
整備後の様子

Q6 あらかじめ一人ひとりが決めておく、時系列順の避難行動計画のことを何というでしょう？

- 1、横浜市防災計画
- 2、ファースト・ミッション・ボックス
- 3、マイ・タイムライン

正解:3

解説:家族構成や地域環境に合わせて、マイ・タイムラインを作っておきましょう。金沢区内の全世帯にマイ・タイムライン作成シートと浸水ハザードマップが配られています。



家族構成や地域環境に合わせて、マイ・タイムラインを作っておきましょう。金沢区内の全世帯にマイ・タイムライン作成シートと浸水ハザードマップが配られています！



ハザードマップって何ですか？



ハザードマップとは、自然災害による被害を予測し、その範囲を地図化したものです。区役所には他に、土砂災害ハザードマップ、津波ハザードマップがあります。**自分の家や周辺にどんな危険があるのか、いざというときの避難場所はどこののか、確認しておきましょう。**



災害時に逃げるのは恥じゃないし、この情報は役に立つね！



Q7

台風や大雨のときの避難について、まちがっているものはどれでしょう？

- 1、雨風のピークの時間帯だが、とにかく一番近い避難場所まで移動する。
- 2、台風がくる予報だったので、少し離れたホテルを予約しておいた。
- 3、近隣の高い建物へ避難する。

正解:1

解説:避難とは「難」を「避」けることであり、避難場所に行くことだけが避難行動ではありません。避難行動には避難場所や知人宅等へ移動する『水平避難』、浸水の及ばない上層階へ移動する『垂直避難』、自宅が安全な場合にはあえて外出しない『在宅避難』などがあります。災害リスクに応じた、適切な避難行動をとりましょう。道路冠水による歩行困難な状況や強風による飛来物などの危険を伴う状況では、水平避難をやめ、垂直避難等に切り替えることが大切です。

《家族と一緒に確認しておきましょう》

あなたの避難場所はどこですか？

(避難経路も確認しておきましょう) ※台風・大雨と地震では、避難場所が異なるので注意しましょう。



いかがでしたか？全問正解したら、あなたも防災王です。

沢山間違えてしまったけど、防災のことを学べてよかった。家族と一緒にしっかり考えてみるよ。



私にできることも沢山あるんだね。もっともっと防災について学びたくなったよ！



もっと防災について知りたくなったら、

金沢区 防災

